



光風会 江田 五六 議員

時代の要請に応える村民への
支援体制の在り方

議員 村民相談室は、平成19年に、消費生活センター、広聴業務、若者支援（ニート問題）を1つの相談業務としてくり、立ち上げられたものです。多岐、多様化する時代の要請に応えるべく、もう一步前進した支援体制が必要と思われると思います。そこで、次のような提案をさせていただきます、お考えを伺います。

①現在の厳しい社会環境の中にあつて、若者に対して、例えば、仮称「若者サポートセンター」とか「若者人材センター」といった組織を構築し、若者の自立につながる就職、あるいは婚活・サークル活動・親の会等々、総合的に支援体制の充実を図るべきです。

②近年の消費者環境は、企業倫理の低下傾向によって、日々犯罪性の高いものになっていきます。したがって、消費生活センターは、村民の生活と財産を守るためにも独立したものとし、専門的に対応するべきであると考えます。

③広聴業務は政策的な意味合いが強いので、他の困り事相談とは分けるべきと考えます。

す。これからの地域主権時代にあつて、広聴業務は、行政・住民・議会が連携していくための必要条件でありま

す。そのためにも、村長に直結した部署において取り扱うべきものと考えます。

総務部長 相談業務を1カ所にまとめることとして現在に至っていますが、将来には、利用者や業務の増加に応じて見直し、提案業務の分散、独立等に関する検討も考えていきます。



新和とうかい 越智 辰哉 議員

幼稚園の耐震化と
幼保一元化はどうなったのか？

議員 幼稚園の耐震化は、「幼保一元化」の検討と並行して計画していく予定であったが、今回の補正予算で舟石川および須和間幼稚園の耐震補強工事の設計費が計上されている。他園の耐震化および「幼保一元化」との関係は？

教育次長および福祉部長 教育委員会では、新耐震基準で建てられた村松幼稚園を除く4園について、早期耐震化を検討してきま

した。一方で、幼保一元化計画も踏まえながら、今後の施設整備方針について協議を重ねてきました。

その結果、①宿幼稚園と村松保育所②石神幼稚園と舟石川保育所という形で一元化施設として整備する方向で進めています。①については平成25年度末には建て替え完成を予定しています。また、②については、土地が離れていることもあり、中間あたりに新しい施設の土地を確保したいと考えています。

なお、耐震化が必要、かつ保育所機能を備えた幼稚園型の施設整備が望ましいとされた舟石川幼稚園と須和間幼稚園については、当面の一元化を見送るため、耐震補強工事を行うこととしました。

来年6月ころまでに実施設計をまとめ、夏休みにかけて舟石川幼稚園から耐震補強工事を行う予定です。



耐震補強を行う舟石川幼稚園